

ふるさと探訪

第7回 もみじの西山興隆寺



仏法山仏眼院興隆寺は、通

います。

称「西山」といわれ、海拔1000呺から300呺で高縄山系にあり、景色が美しく四季に富み、特にもみじの名所として知られています。もみじの見ごろは気候によって変わりますが、11月初旬から12月初旬となつて

初旬となつて

第35代皇極帝の御代に、空鉢上人によつて創建され、七しち堂伽藍どうがらんを完備しています。行基菩薩・報恩大師・弘法大師が御入山（修行に入ること）され、桓武帝の勅願寺にもなっています。その後、源頼朝公・河野家・松山藩主・小松藩主、その他名門名士や地域の人々に大切に守られ、別格本山（特別な格式を持つ寺院）となつています。

興隆寺本堂・宝篋印塔・銅鐘が国指定重要文化財に、銅造如来立像・三重塔・興隆寺文書、名勝西山（境内地）



興隆寺本堂・宝篋印塔・銅鐘が国指定重要文化財に、銅造如来立像・三重塔・興隆寺文書、名勝西山（境内地）

が県指定文化財に、宝篋印塔・勅使門・六角堂・樹齡200年の熊谷椿・樹齡180年の広葉杉が市指定文化財に指定されています。

このように多数の国・県指定文化財のうち展示可能なものや重要寺宝の一部を、宝物館で秋季特別展示します。

■開催日 11月6日～27日の土・日・祝日 10時～15時

■住所 丹原町古田1657
TEL 0898-68-7275

■駐車場 あり

